
ナポレオン四代

～二人のフランス皇帝と悲運の後継者たち～
WES.22.7.2020

書誌データ(Book Data)



- 著者(Author): 野村 啓介

高校時代、世界史でフランス革命ナポレオンを学んだ

担当の先生が熱心で引き込まれていった…

- 出版年(Publication Year): 2019年 2月
- 出版社(Publisher): 中公論新社

目的 (Object)

- 1 世界的にも有名であるフランス革命に大きく携わったナポレオンが、4代に渡ってフランス統治時代をどう生きてきたか深掘りしたい。
- 2 ナポレオンは、現代においても深い関わりがあるのか？強国が連なるヨーロッパでどのように関わってきたか？

フランス革命とは…

18世紀後半(1789～1799)にフランスで起きた市民革命運動

この革命によって、王が絶対的権力を有した絶対君主制時代と、それまでの封建的体制が崩壊。
フランスが新たな近代国家体制を築く

第1章～皇朝の創設者－ナポレオン1世－

- ・ **皇朝の創設者**といわれるナポレオン1世は、1769年にコルシカ島で生まれた。
- ・ 1世は革命派であり、台頭する立場であったが、逮捕をきっかけに**世も不遇の時代に突入**。
- ・ **政治に従事し**、第1統領として独裁的な権力を握っていた。フランス革命が終息すると同時に新たな歴史の局面が始まる。
- ・ ナポレオンは大陸封鎖、条約を結んでワルシャワ公園を作った。

- ・ナポレオンはヨーロッパを征服するに至った。
- ・フランス皇帝からエルバ皇帝へ変わった。
- ・フランス皇帝へと復位したナポレオンは再びヨーロッパ列強との対決を余儀ない。後退したナポレオンは島に配流され静かに息を引き取った。
- ・ナショナリズムを高揚させる一方、ナポレオン崇拜が残存された。しかしフランスが軍事力を背景に大陸支配を続ける→ドイツのフィヒテに代表されるように各国・地域のナショナリズムが芽生える。

第2章～ドイツ貴族になったナポレオンーナポレオン二世ー

- ・近代フランス史に不可欠のページを加えるナポレオン伝説という現象になった。
- ・ナポレオン2世は、旗頭として人気が高まっていた。
- ・ライヒシュタット公は、軍のキャリアに進みたいという考えが台頭していた。
- ・ルイ・ナポレオンに皇位継承権が移りバナパルト家の命運は、第二世代の当主に託されることになった。

・ナポレオンという名は2月革命を経ても尚、その多様性ゆえに有効である。後継者として2世は存在感を高めることで成功した。

※2月革命:7月王政が普通選挙の実現拒否に対して市民が蜂起し、王政を終わらせた革命。(1848)



第3章～ 囚人から共和国大統領、皇帝へーナポレオン三世ー

- ・ ナポレオンの権力が全盛期である時にルイ・ナポレオンは生まれた。後にナポレオン3世になる人物

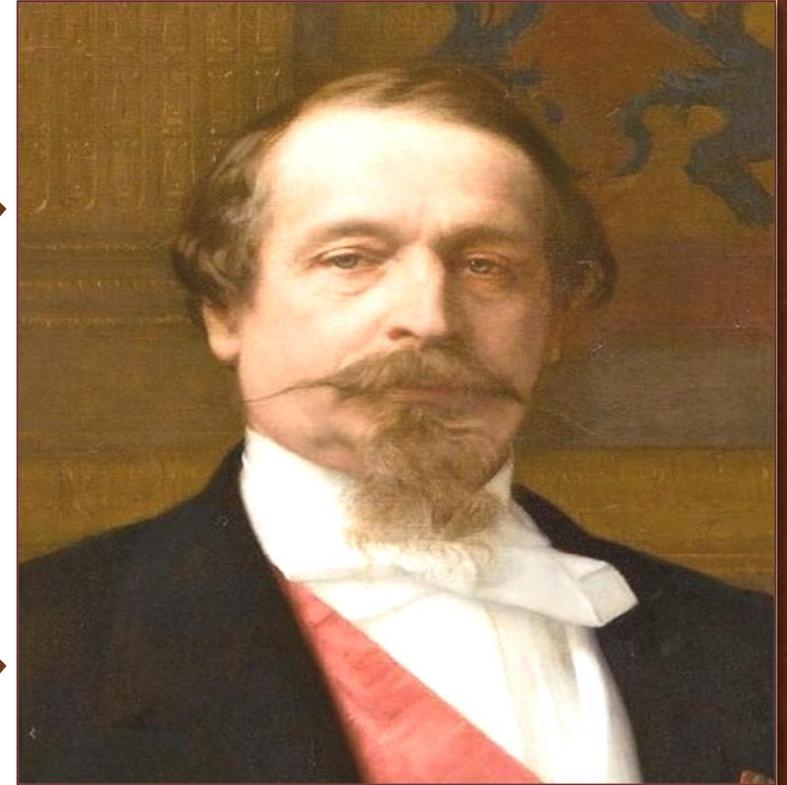
- ・ 1830年代ナショナリズム運動が活発化し、革命運動に参加。サン・シモン主義に接近し、新しい経済政策や工業発展。

- ・ ルイは、6月事件(1848)を鎮圧し、対抗馬らと競って農村票を大いに期待にした結果圧勝した。

帝国復活するにあたり人民投票を行った結果、圧倒的多数の賛成により帝政が樹立。「ナポレオン3世」として継承していった。ローマ帝国復活の背景にはナポレオン3世がカトリック教会と関係を築いた。理想には、古いヨーロッパ(ウィーン体制)を打破するという目標。イタリア統一に寄与し、ナショナリズムの旗頭として存在感も増すことになった。ナポレオン三世の治世は、「フランスの栄光」を求めて苦闘する時期。

第4章～帝国復興の期待の星—ナポレオン四世

- ・ 1856年ルイ皇太子が誕生し、大ナポレオンの継承者と期待された。
- ・ 彼は、敵の進軍から逃れるために、イギリスへ脱出した。
- ・ 父が亡命後、一時期衝撃を受け、より一層勉学に励む。
- ・ 軍人として働くことを望んでいて、状況の一新がしたく、豪軍に入ることも考える。アフリカへの行く途中、ズールー族に殺害された。



- ・第二帝政崩壊後、亡命したルイ皇太子は、成長とともに、ボナパルト派首領としての自覚を深めた。
- ・ナポレオン皇朝の創設者に憧れ軍人になり、イギリス軍人として努力
- ・23歳で死亡したが、歴代のナポレオンと同じ運命を過ごす。

終章～その後のボナパルト一族

- ・その後、ボナパルト家当主の後継者はジェロム皇統になる。それでも後継者をめぐる内紛は、政治活動にも大きな影響を与えてた。

- ・ナポレオンの名がフランス史の表舞台で大きな役割を演じたのは大革命から二月革命に至る政治的・社会的な激動期



・革命はフランス国内に大きな影響を与えただけでなく、フランスが発信した大革命の波は広くヨーロッパにインパクトを残した。それがナポレオン時代である。

結論(Conclusion)

ナポレオンは、フランス革命後も政治に従事し、様々な困難に立ち向かってきた。英雄である1世は島流しにされ亡命したが、後継者達に大きな影響を及ぼした。

そこから父に憧れ、軍功を焦るが、病に倒れ夭折した2世、クーデタで皇帝になった3世、英兵だった4世と、4代にわたって近代を生きた。

End... Thank you